

1. (3)

多様なサービスを使って、
いつまでも近所の人と
関わりながら
自営をしていた自宅で
過ごしたい

86歳 女性 要介護4

小規模多機能ホーム松ちゃん家

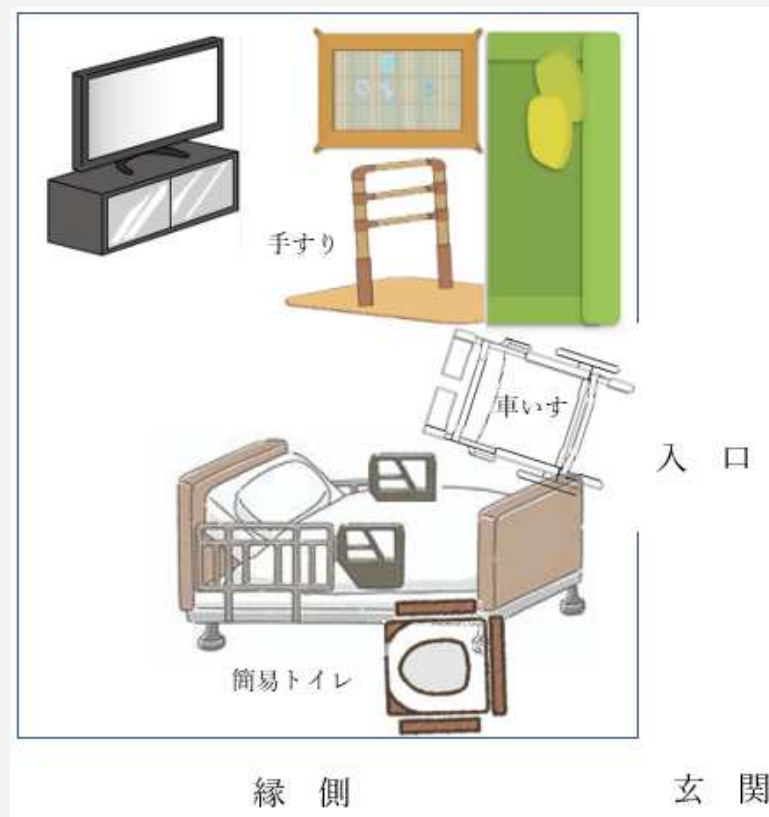


小規模多機能ホームの 利用が必要となった 背景

- 介護保険利用開始： 令和元年6月1日～
- 長男と二人暮らし（子供は2人、夫は16年前他界）
（長男は独身、夜勤があり介護は精神的にも困難であります）
- 本人の症状（多くの病気経験あり）
骨折4ヶ所（腰椎圧迫、恥骨、座骨、右大腿骨頸部）
右肩関節脱臼、頭部外傷、外傷性血胸。
パーキンソン病といって、
何もしていない時にふるえたり、筋肉の緊張が強くなり、手足の動きがぎこちなくなります。動作の開始に時間がかかり、動作そのものも遅くなり、転びやすくなるなどの症状があり6年前から治療しています。
5年前に脱臼してからは右手が不自由になり、調理や洗濯などが行えなくなりました。
- 日常生活の自立度（令和5年2月主治医の見立て）
身体：ランクB（屋内での生活は何らかの介助を要します）
認知症：Ⅱ b（家庭内でも日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。）

- ① 古い家屋。玄関の上がり框は2段あり高く、上がれない
⇒車椅子で部屋のソファとベッドの間まで移動します。
- ② ベッド右足元に簡易トイレ。ベッド左側にソファがあり、テレビを見たり、お茶を飲んだりとゆったりと過ごされます。また、立ち上がりを補助する手すりが設置されており、体の動かしづらさや支えとなっており、リハビリにも使用しています。
ご本人はソファからベッド、ベッドからポータブルトイレの移動は出来ます。
- ③ 尿意を感じ、トイレに立つがズボンを下げるにもゆっくりと何とか行えている状況です。特に夜間は量が多く、痛みやしびれがあるため、失敗しても安易に変えられるようにリハビリパンツ（紙パンツと大き目のパッド）を履いています。また、便秘がちでお薬で調整している為、便が緩い時などは心配があります。
本人は気になると便をいじってしまうこともあります。
- ④ 近くに嫁いだ娘様はパート勤め（実家から近い）もしている中で、必要な受診に付き添ったり、日に2回程訪問され洗濯や買い物などをされています。
夜は息子様もおられ、安心されています。

現在の生活や 身体の状態は？



① 息子様の夜勤の時は泊り（月 6 回程）

② 週 4 回デイサービス利用

腰や肩に痛みやしびれがあり、手や腕を上にあげる事が難しいため、入浴や食事、薬の介助を行う

③ 訪問リハビリ：週 1 回

自宅で転倒していたこともあり、訓練を行う

④ 自宅へ訪問（安否確認、排泄介助）

朝：週 3 回 夕方：週 5 回

現在の
サービス内容

1 週間のスケジュールはこんな感じになります

	月	火	水	木	金	土	日
深夜	0:00						
	2:00						
	4:00						
早朝	6:00						
	8:00						
午前	08:45~09:55 <small>小規模通(注・身)</small>		09:20~10:00 訪問リハ	08:45~09:55 <small>小規模通(注・身)</small>	08:45~09:55 <small>小規模通(注・身)</small>		
	09:00~17:00 小規模(通) 小規模多機能ホーム松 ちゃん家			09:00~16:00 小規模(通) 小規模多機能ホーム松 ちゃん家	09:00~16:00 小規模(通) 小規模多機能ホーム松 ちゃん家		
	10:00			10:00	10:00		
午後	12:00						
	14:00						
	16:00						
夜間	17:00~09:00 小規模(泊) 小規模多機能ホーム松 ちゃん家						
	18:00						
	20:00						
深夜	22:00						

- いかがでしょうか？ 要介護4、不自由な事も多いですが、ご自宅で過ごす時間もあり、友人知人との交流も保たれ、息子様不在時は泊り、娘様の協力もあり安心して生活が送れているのではないかと思います。



緊急事態発見！

- ・デイサービスのお迎えに伺った時、
- ・ホームヘルパーで訪問した時……。

転んで骨折していた。高熱が出ている。
熱中症などなど

※いつものご利用以外にも緊急時は泊まって頂く、生活や身体の状態に合わせた訪問回数に変更したり柔軟なサービスを提案します。また、受診のお手伝いもします。

※ご家族が感染したり、入院したりと介護できない時なども泊りをご利用して頂いています。



この先は
どうなるの？



ご本人の希望が
自宅であるため、
出来る限りの方法
を提案し、柔軟な
サービスで小規模
多機能の役割を
果たし、支援して
まいります。

① 受診が難しくなった。

かかりつけ医から訪問診療医にバトンタッチも可能です。
定期的、変化時など自宅で看てもらえます。

安心ですね。（歯科医・薬剤師も相談可）

② 訪問看護を導入。

夜間の緊急時は勿論、訪問診療医に詳細を伝えて対
応して下さるので、心強いですね。

③ 手すりが合わなくなった。ベッドのマットが合わなくなった
など、適した物に交換して床ずれなど予防します。

（住宅改修相談可）

ご清聴ありがとうございました。